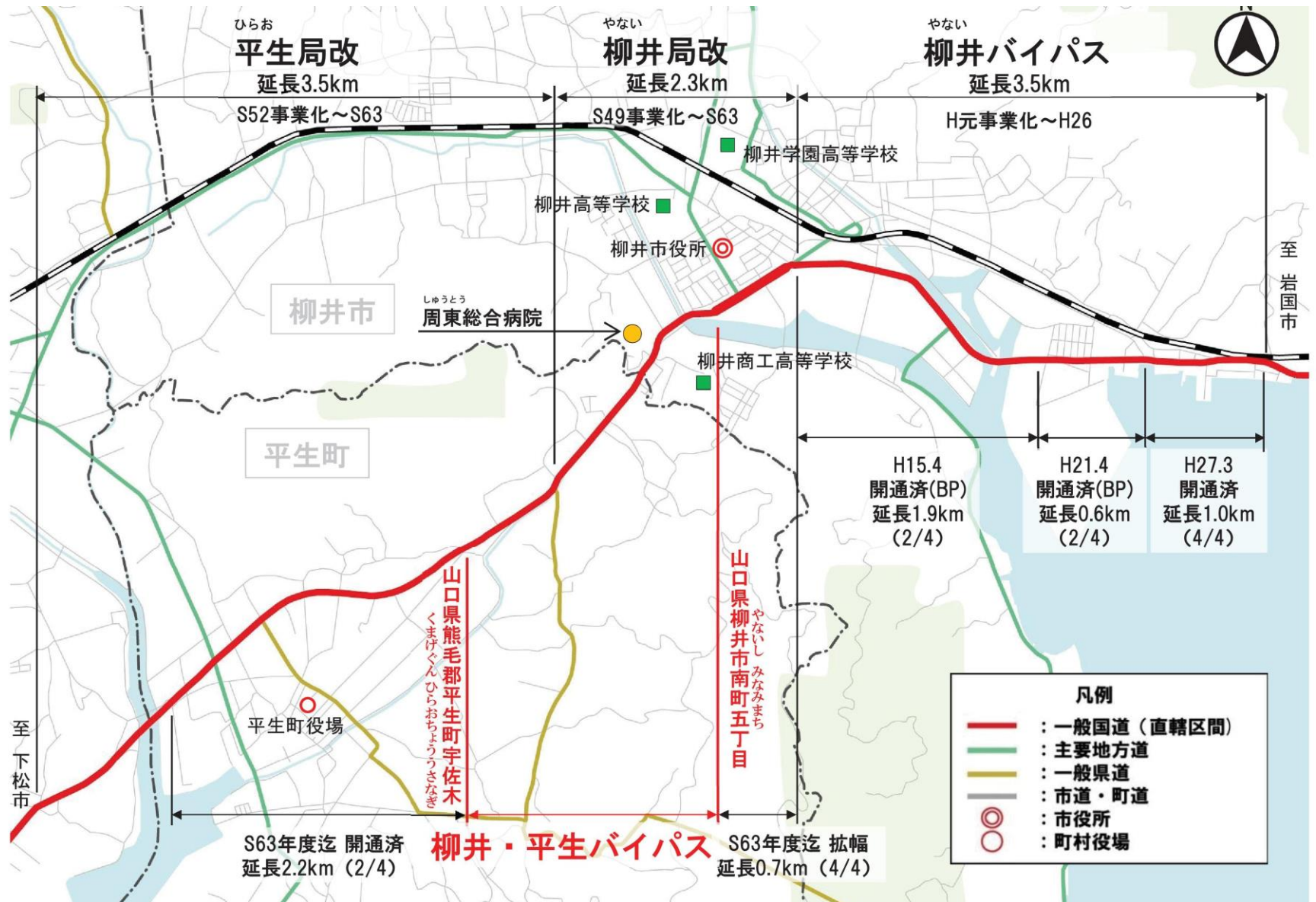


国道188号柳井・平生バイパスについて

令和元年11月12日

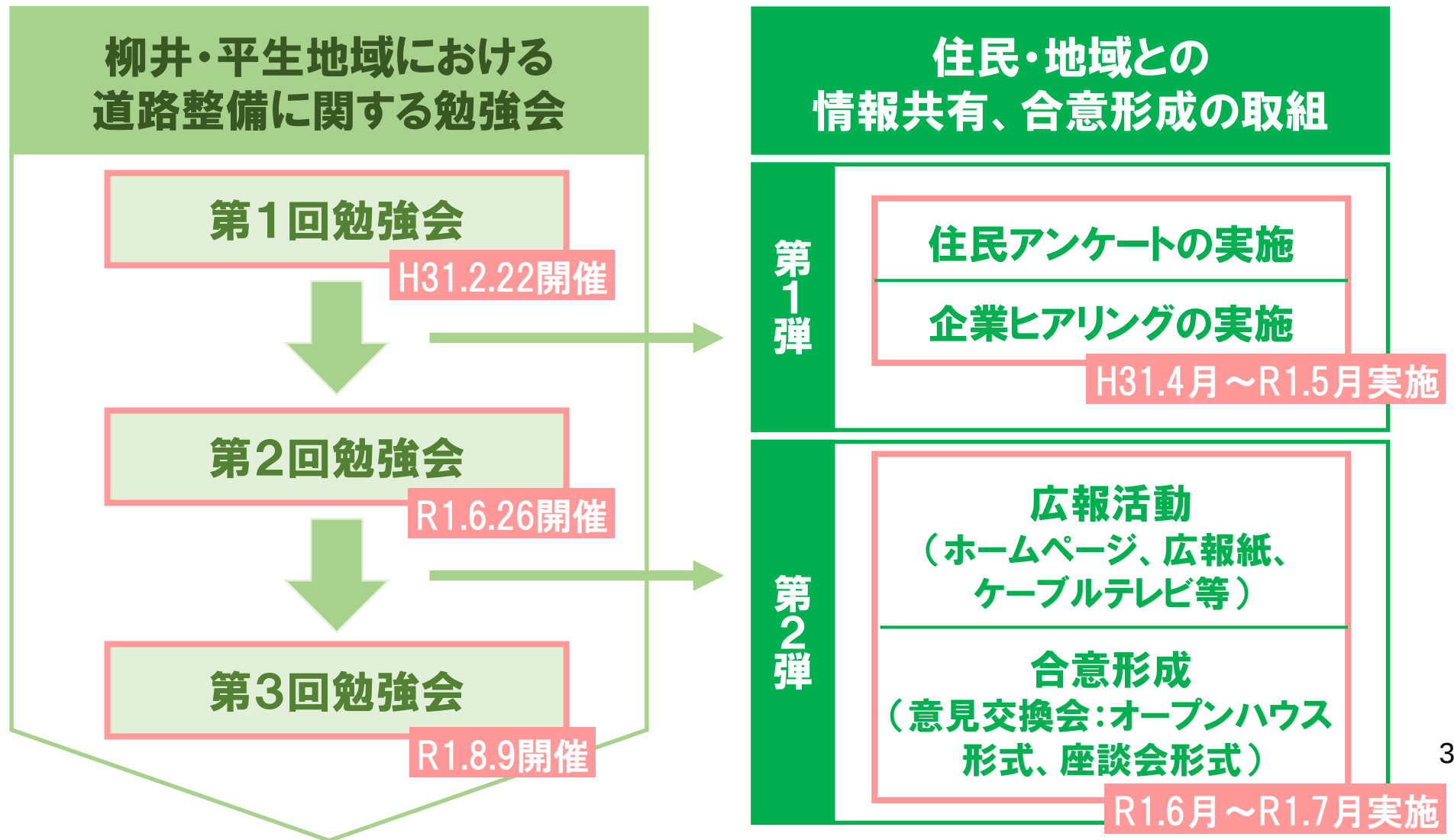
柳井市 建設部 都市計画・建築課

1. 国道188号柳井・平生バイパス位置図



2. 道路整備に関する勉強会・合意形成の取組

○地域住民や道路利用者のご意見を聴きながら、国道188号柳井・平生地域の道路計画について検討を行いました。



3. 対象地域の課題

凡例

台/日 : 交通量
(H27全国道路・街路交通情勢調査)

【渋滞】

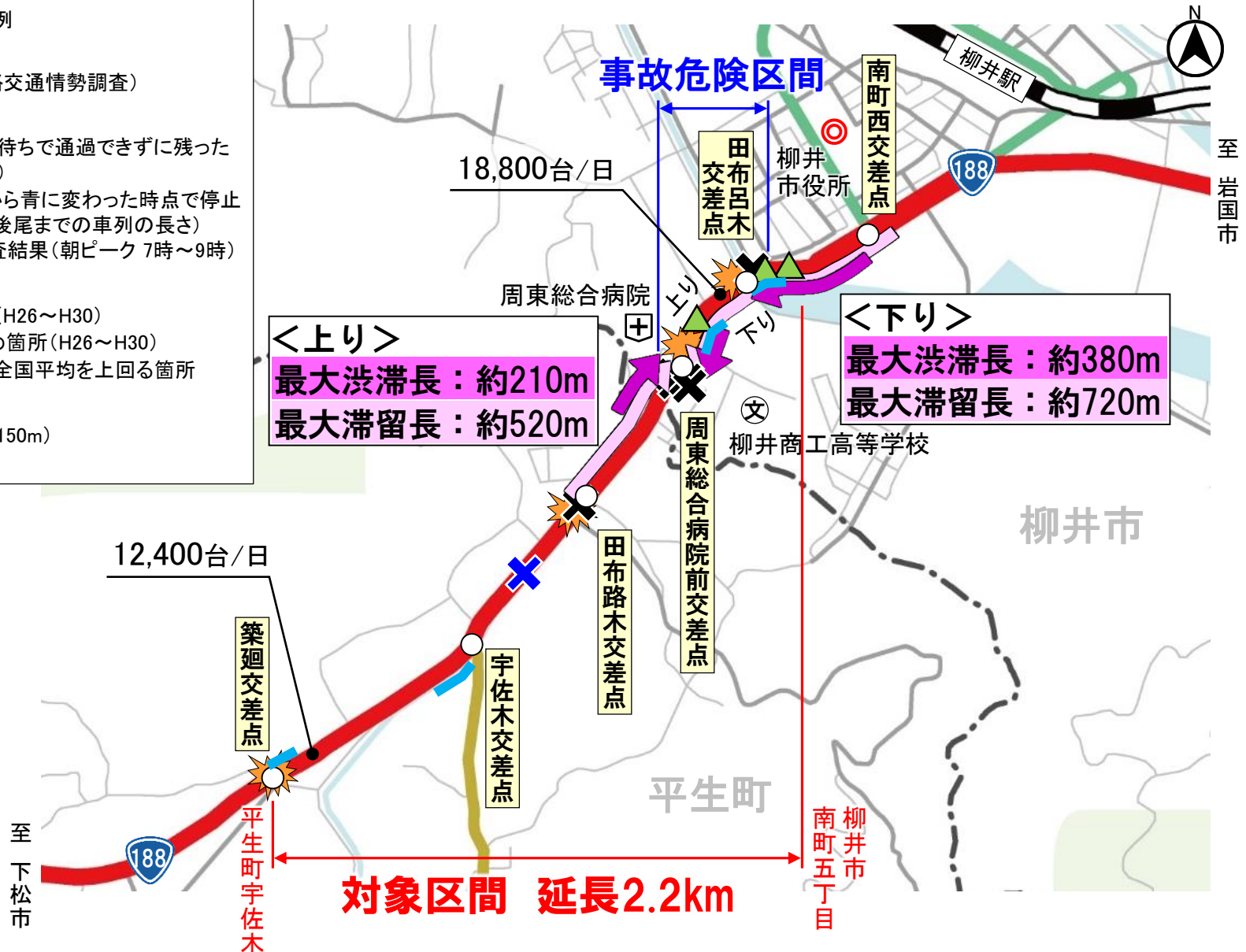
- ← : 渋滞長(1回の信号待ちで通過できずに残った車列の長さ)
 - ← : 滞留長(信号が赤から青に変わった時点で停止している最後尾までの車列の長さ)
- ※R1.5.21(火)交通実態調査結果(朝ピーク 7時~9時)

【事故】

- ✕ : 死亡事故発生箇所(H26~H30)
- ✕ : 事故による通行止め箇所(H26~H30)
- ☀ : 事故の発生確率が全国平均を上回る箇所

【道路構造】

- ▲ : 線形不良箇所(R<150m)
- : 歩道未整備区間



3. 対象地域の課題

渋滞の状況

- 朝の通勤時間帯には、周東総合病院前交差点を先頭として約720mの滞留、田布呂木交差点を起点に約380mの**渋滞が発生**し、日常生活や企業活動、救急救命活動の妨げになっています。



▲渋滞状況

3. 対象地域の課題

事故の状況

- 対象区間には、**交通事故の発生**確率が全国平均を上回る交差点や区間が存在します。
- 朝ピーク時には、通勤車両と高校生、病院利用者が錯綜し危険な状況です。



▲事故の発生状況(H29.3.6)



▲自動車と横断者の錯綜状況(周東総合病院前交差点付近)

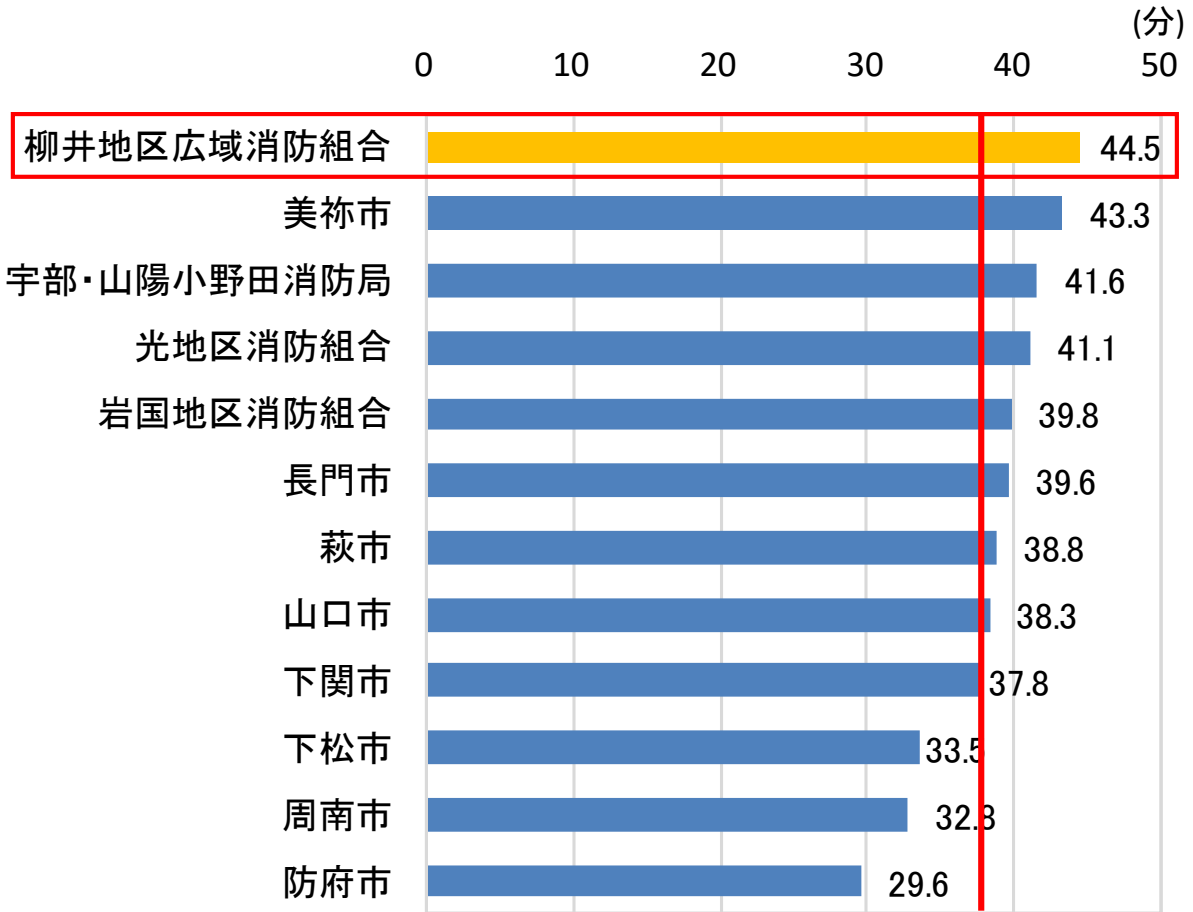
3. 対象地域の課題

医療の状況

➤ 柳井地区広域消防組合では、病院への収容に**県内で最も時間を要して**います。



▲周東総合病院への搬送状況



山口県平均 38.2分

▲収容平均所要時間(H29)

3. 対象地域の課題

産業の状況

- 柳井市には、LNG基地や都市ガスの製造拠点があり、ガス・電気事業者をはじめ、様々な企業等が国道188号を利用しています。



▲物流車両の走行状況

3. 対象地域の課題

災害の状況

- 平成30年7月豪雨時に、山陽自動車道、国道2号や主要な県道、JRが通行止めや不通となり、国道188号が迂回路として機能し、その影響で、**災害直後は激しい速度低下**が発生しました。



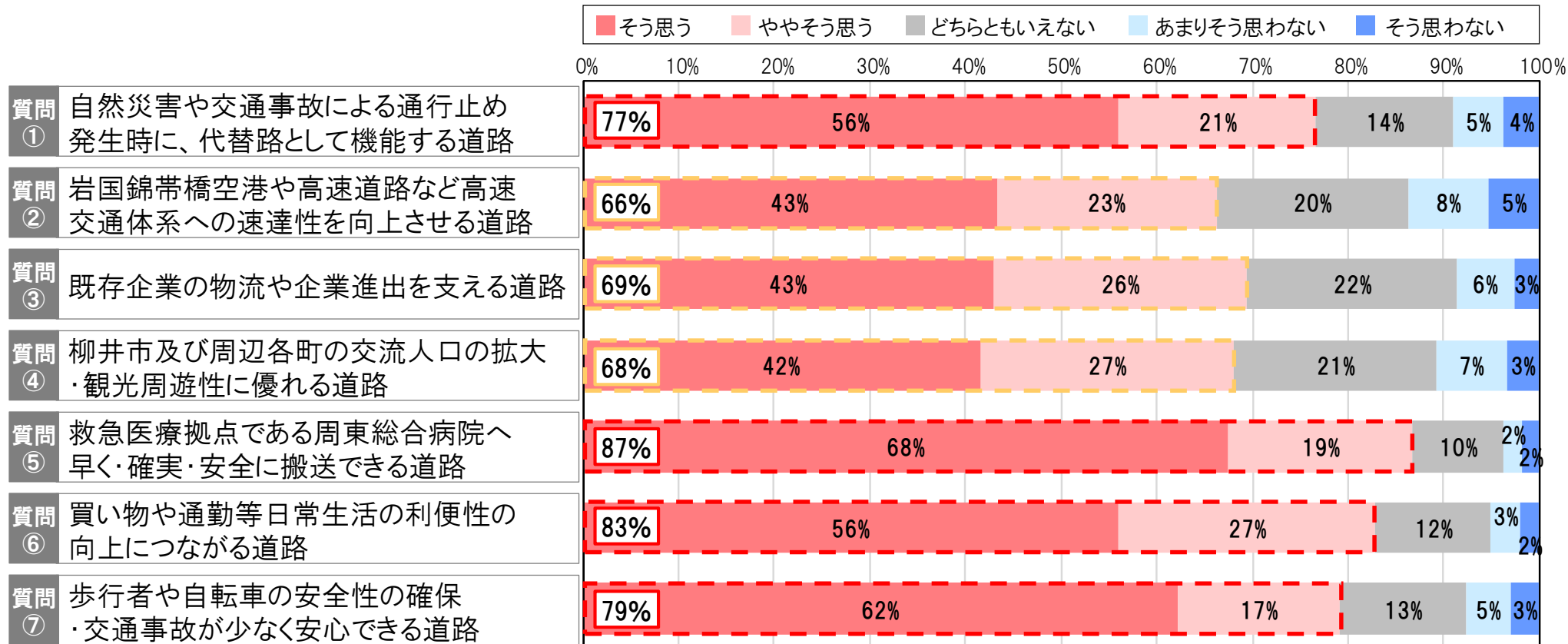
▲土砂災害の発生状況(下松市)

4. 合意形成の取組（第1弾）

住民アンケート結果（H31.4～R1.5実施）

○住民アンケートにより、道路整備を検討する際に重視すべき事項等を調査しました。
○代替路機能、救急医療拠点への搬送、通勤・日常生活の利便性の向上、安全性の確保・交通事故減少の4項目について、賛成のご意見が7割以上でした。

【質問】道路整備を検討するに当たり、地域の将来も踏まえてどのような道路にすべきと思いますか？



4. 合意形成の取組（第1弾）

企業等ヒアリング結果

○企業等へのヒアリング調査を実施し、安心・安全、医療・介護、観光・交流、産業・経済に関する期待される整備効果を確認しました。

■ヒアリング対象（柳井市・平生町内の企業・団体等 25者）

・周東総合病院	・平生町観光協会	・商業施設（スーパー）	4者
・訪問看護ステーション	・柳井商工高等学校	・製造業（工場等）	4者
・柳井地区広域消防本部	・電気・ガス事業者（関連会社含む）	・交通事業者	2者
・柳井市観光協会	・観光・産業・福祉等関係部署	・運送業	2者

■回答の状況

安心・安全についての期待

- 歩行者・自転車通行の安全性向上
- 交通事故の減少

医療・介護についての期待

- 救急搬送時間の短縮
- 訪問看護・介護サービスの効率化

観光・交流についての期待

- 観光周遊ルートの形成・観光客の増加
- 自治体間の広域連携の促進

産業・経済についての期待

- 物流など円滑な産業交通の確保
- 災害時いざという時のための代替路の確保
- 企業誘致の促進・雇用の拡大

5. 政策目標、対策案について

○地域の課題及びアンケート・ヒアリング結果を踏まえ、国道188号柳井・平生バイパスの道路整備における政策目標を決定しました。

国道188号柳井・平生バイパスの道路整備における目標

交通安全の確保

救急医療機関への速達性・確実性の確保

観光振興の促進

産業振興を支援するネットワークの強化

交通の円滑化

災害等に強い信頼性の高い道路ネットワークの確保

5. 政策目標、対策案について

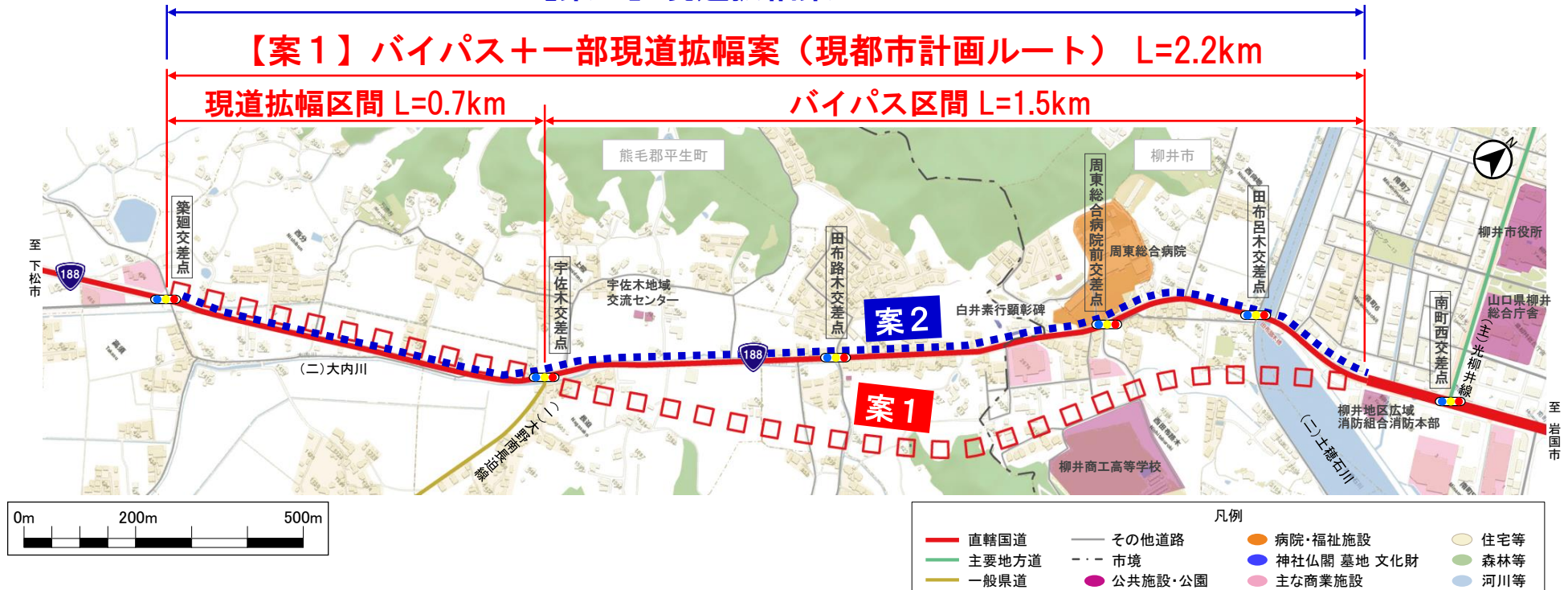
○渋滞や事故などの現道課題を解消、救急医療機関へのアクセス、災害や事故等による通行止め発生時の影響を考慮し、以下の案を検討しました。

【案2】現道拡幅案 L=2.2km

【案1】バイパス＋一部現道拡幅案（現都市計画ルート） L=2.2km

現道拡幅区間 L=0.7km

バイパス区間 L=1.5km



案1:バイパス＋一部現道拡幅
(現都市計画ルート)



現道の課題区間を回避する4車線のバイパスを整備し
残る区間の現道を拡幅する案

案2:現道拡幅案



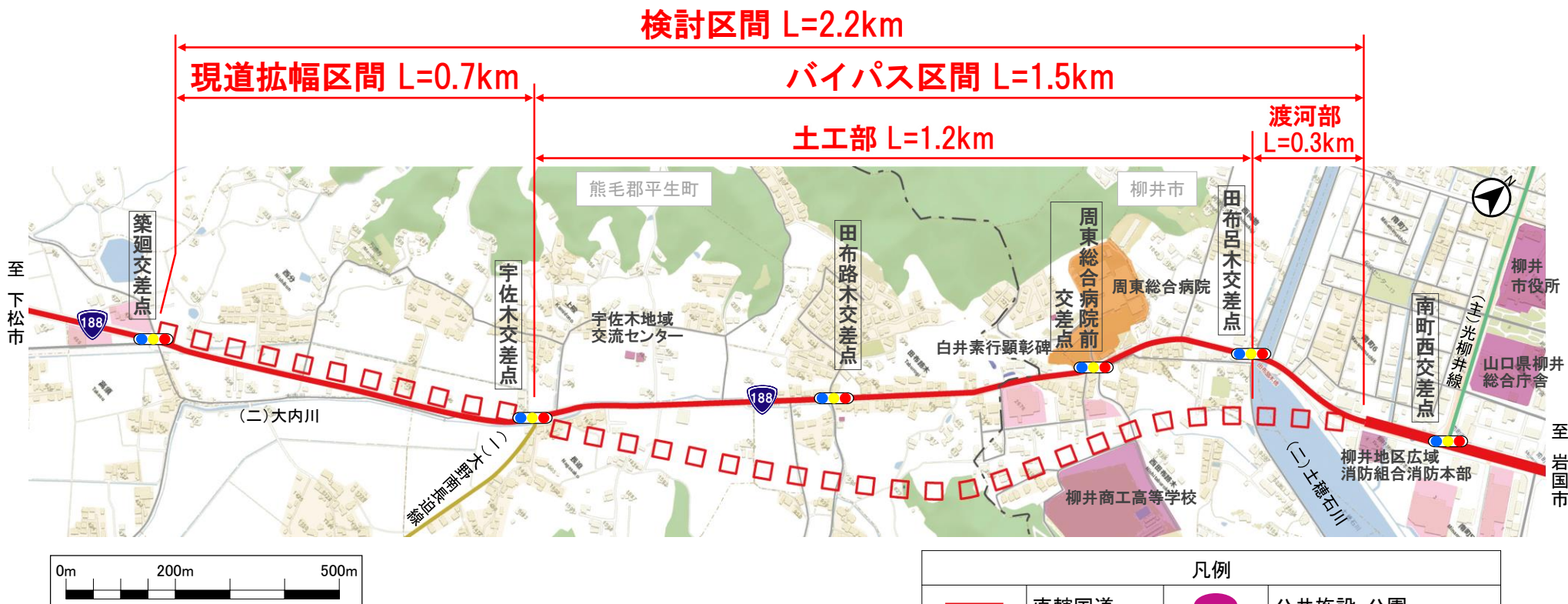
現道（対面2車線）を4車線に拡幅する案

5. 政策目標、対策案について

評価項目		評価のポイント	【案1】 バイパス＋一部現道拡幅(現都市計画ルート)		【案2】 現道拡幅案	
			現道の課題区間を回避する4車線のバイパスを整備し 残る区間の現道を拡幅する案		現道(対面2車線)を4車線に拡幅する案	
道路整備による効果・改善点	交通安全の確保	交通事故が起きにくいこと 歩行者の安全性が確保されること	○	・バイパスへ交通転換することにより交通事故が減少 ・バイパス区間に歩道が整備され、安全性が確保される	○	・現道拡幅で右左折交通が分離され交通事故が減少 ・全ての区間で歩道が整備され、安全性が確保される
	救急医療機関への速達性・確実性の確保	救急医療機関へ早く、 確実、安全に搬送できること	○	・バイパスへ交通転換することにより渋滞が緩和し、 救急医療機関への速達性向上が見込まれる ・バイパス整備により、災害や事故等による通行規制の 影響を受けず、早く確実に搬送可能	△	・現道拡幅により交通処理能力が向上し、救急医療機 関への速達性向上が見込まれる ・災害や事故等による通行規制時には徐行が求められ るため、効果は案1に比べ小さい
	観光振興の促進	観光地へアクセスしやすいこと	○	・バイパス整備により、事故等による通行規制の影響 を受けず、観光地へのアクセス性が向上	△	・現道拡幅により車線数が増加し、事故等による全面 通行止めリスクは減少するものの、規制時には徐 行が求められ、観光地へのアクセスに時間を要する
	産業振興を支援する ネットワークの強化	物流時間の短縮や移動時間 を読みやすくし、産業活動 を支援すること	○	・バイパス整備により、走行性が確保され、速達性が 向上	△	・現道拡幅により交通処理能力が向上し渋滞緩和が見 込まれるが、効果は案1に比べ小さい
	交通の円滑化	渋滞が緩和できること	○	・バイパスへ交通転換することにより渋滞が緩和	△	・現道拡幅により交通処理能力が向上し渋滞が緩和 ・信号交差点が残るため、案1より速度低下
	災害等に強い 信頼性の高い 道路ネットワークの確保	災害や事故等による 通行止め発生時に多重性が 確保されること	○	・バイパス整備により多重性が確保される	△	・現道拡幅により車線数が増加し、全面通行止めのリ スクは減少するものの、多重性は確保されない
配慮すべき点	環境等への影響	自然環境への影響が少ないこと	△	・土地を新たに改変する範囲が大きいため配慮が必要	○	・土地を新たに改変する範囲は小さい
	生活への影響	移転等が必要な家屋が少ないこと	○	・45軒	△	・75軒
	工事の影響	工事中の交通規制の影響が少ないこと	○	・バイパス部工事のため、現道の交通規制は少ない	△	・現在の国道を拡幅するため、交通規制が多い
	建設費	建設に要する費用が安いこと	○	・約70億円	△	・約80億円

5. 政策目標、対策案について

○比較評価の結果、全ての政策目標の達成が見込め、移転等が必要な家屋や工事中の交通規制の影響、建設費など、配慮すべき点について総合的に優れていることから、
【案1】バイパス＋一部現道拡幅(現都市計画ルート)】を対応方針として決定しました。



凡例			
—	直轄国道	●	公共施設・公園
—	主要地方道	●	病院・福祉施設
—	一般県道	●	神社仏閣 墓地 文化財
—	その他道路	●	主な商業施設
---	市境	●	住宅等
●	河川等	●	森林等

6. 合意形成の取組（第2弾）

意見交換会の結果

○バイパスの整備によって「交通安全の確保」、「救急医療機関への速達性・確実性の確保」、「交通の円滑化」、「災害等に強い信頼性の高い道路ネットワークの確保」等の政策目標が達成されることについて期待する声が多いことが分かりました。

意見交換会（オープンハウス形式）

来場者数：194人

■交通安全の確保（16件）

- ・周東病院前は危ない。宇佐木交差点も渋滞時の県道からの出入りが危ない。（平生町宇佐木地域交流センター）

■救急医療機関への速達性・確実性の確保（8件）

- ・救急車にとって周東病院へ安心して入っていける道が必要。（ゆめタウン柳井（1回目））

■交通の円滑化（12件）

- ・朝・夕は周東病院の前が全然進まないので、バイパスは良い案だと思う。（ゆめタウン柳井（2回目））

■災害等に強い信頼性の高い 道路ネットワークの確保（1件）

- ・現道が通行止めになると迂回路がなくて困る。（ゆめタウン柳井（2回目））

意見交換会（座談会形式）

来場者数：39人

■交通安全の確保（14件）

- ・学生の通学時の安全確保が必要。
（柳井市農業担い手センター（2回目））

■救急医療機関への速達性・確実性の確保（3件）

- ・緊急車両が速やかに安定的に搬入できるようになる。
（柳井市農業担い手センター（1回目））

■交通の円滑化（11件）

- ・4車線区間や右折専用レーンがもっと増えてほしい。
（田布路木旭ヶ丘集会所）

■災害等に強い信頼性の高い 道路ネットワークの確保（9件）

- ・災害発生時のネットワーク確保に資する。 16
（柳井市農業担い手センター（1回目））

6. 合意形成の取組（第2弾）

選択型アンケート結果

○バイパスが整備されることで、「⑤渋滞せず、交差点が少なくスムーズに走行できること」、「①歩行者や自転車が安全に通行できること」、「②周東総合病院へ自動車や歩行者がアクセスしやすいこと」、「⑥災害や事故により通行止めになった時に、代替路となること」を期待する方が多いことが分かりました。

【質問】柳井～平生間の新しい道路(バイパス)及び周辺エリアについてどのようなことに期待しますか？

0 50 100 150 200 250 300 350

⑤渋滞せず、交差点が少なくスムーズに走行できること 333

①歩行者や自転車が安全に通行できること 307

②周東総合病院へ自動車や歩行者がアクセスしやすいこと 292

⑥災害や事故により通行止めになった時に、
代替路となること 257

⑦新しい道路をできるだけ早く整備すること 222

④バス・トラックなど大型車が走りやすくなり、
物や人が行き来しやすくなること 168

③他地域の方にとっても走りやすく、観光地間の
移動時間が短くなること 120

⑧その他 24

17

N=507(総回答数1,723)

6. 合意形成の取組（第2弾）

意見交換会の実施状況

オープンハウスの状況



(平生町宇佐木地域交流センター)

座談会の状況



(柳井市農業担い手センター)

選択型アンケートの実施状況



(ゆめタウン柳井)

選択型アンケートの実施状況



(平生町宇佐木地域交流センター)

7. 整備方針



アクセス道路の整備推進(柳井市・平生町)

周東総合病院への接続など、バイパスの整備効果
を高めるアクセス道路の整備を推進

- バイパスと旧道の効果的な接続
- 既存市道とバイパスの効率的な接続

田布路木橋の架替・土穂石川河川改修の推進(山口県)

バイパス整備後の田布路木橋を含む旧道の位置づけ

【地域の生活道路】【事故・災害時の代替路】【異常気象時の避難路】

バイパス整備と綿密な調整・連携

■ 橋梁の架け替え⇒河川改修の推進

国道188号柳井・平生バイパス

国道188号柳井・平生バイパスの整備推進(国)

地域交通の骨格である国道188号の機能強化

⇒周辺市町が一体となって広域連携を進め、地域の喫緊の課題へ対応

◇ 地域の喫緊の課題

人口減少・高齢化への対応

交流人口の拡大(賑わいの創出)

地域の取組(柳井市・平生町)

- 企業誘致施策の推進
- 多様な観光振興施策の推進
- 広域医療体制の強化
- 行政機能の広域連携の促進 等

期待される整備効果

交通安全の確保



- 交通事故の減少
- 安全な歩行空間の確保

救急医療機関への 速達性・確実性の確保



- 救急搬送時間短縮
- 介護サービス等の向上

観光振興の促進



- 観光周遊ルート形成
- 観光客の増加

産業振興を支援する ネットワークの強化



- 企業誘致の促進
- 雇用の拡大

交通の円滑化



- 交通渋滞の解消
- 定時性の確保

災害等に強い 信頼性の高い道路 ネットワークの確保



- 災害時の走行性確保